

1 レンタルパレット事業（共同利用・共同回収により物流効率化とCO2削減を両立）

- 当社主力事業であるレンタルパレット事業は、パレットの共同利用・共同回収が特徴で、1枚のパレットで途中積み替えることなく複数企業間をまたぎ、目的地まで輸送し、パレット毎に納品。利用後の空パレットは日本パレットレンタルがまとめて回収後、当社のデポから別のメーカー等へレンタルする仕組み。
- 共同利用、共同回収によりパレットを効率的に運用できるため、自社利用に比べパレット数量およびCO削減が可能。

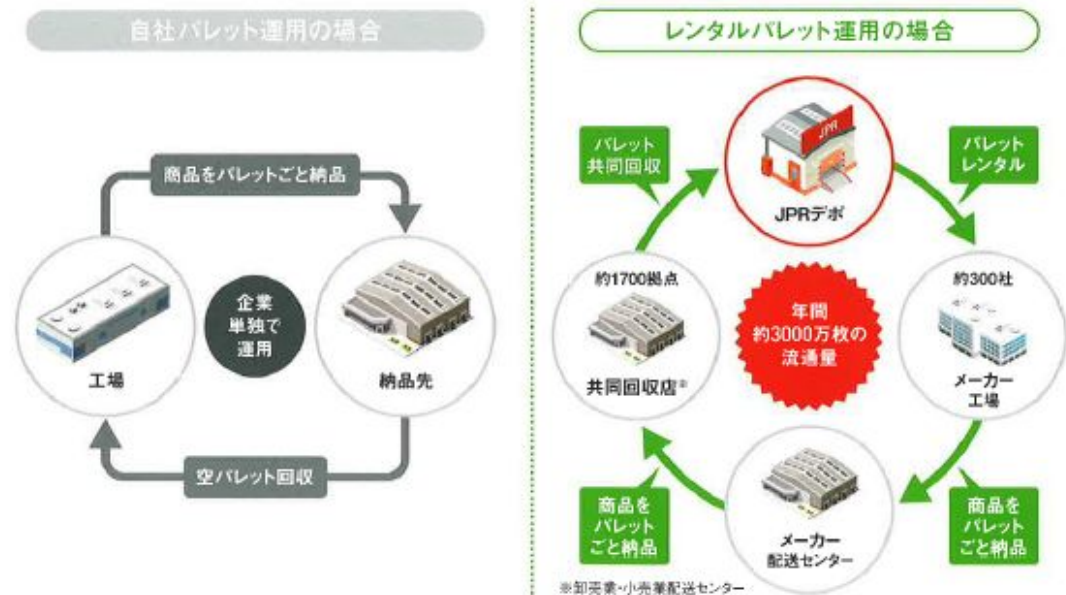
レンタルパレットを利用した際のメリット

パレット納品により、**荷卸し時間や車両待機時間の削減**が実現

積み替え作業が無くなり、**物流品質の向上と働き方改革**が実現

各社が自社でパレットを所有する場合と比較して、**全体で必要となるパレット数量が低減**

レンタルパレットによる共同利用・共同回収により、各社が自社パレットを利用するよりも**COが78%削減**



評価方法：東京海洋大学との共同研究がベース
監修：環境総合テクノス社、東京海洋大学

2 グリーンローン実行スキーム

スキーム



評価：Green1の格付を取得

総合評価	Green 1 (F)
グリーン性評価 (資金使途)	g1 (F)
管理・運営・透明性評価	m1 (F)

株式会社日本格付研究所による本件グリーンローン・フレームワークの評価の結果「**Green1(F)**」の**最高評価**を取得。

SDGsの目標およびターゲットに貢献する

目標9：産業と技術革新の基礎をつくる

ターゲット9.4 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術および環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。すべての国々は各国の能力に応じた取り組みを行う。

目標12：持続可能な消費と生産のパターンを確保する

ターゲット12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

3 AI共同輸送マッチングサービスについて（参考）

- トラックドライバー不足への対応や、**環境負荷軽減**の取り組みとして、共同輸送（同じトラックを共同で活用する）の事例が増えているが、その**多くが同じ業界内**の取り組み。
- 同じ業界内では季節波動や輸送ルートが似ているケースが多く**実務的なハードル**に。
- レンタルパレットの利用企業の多様性を背景に、JPRが共同輸送を望む企業をお引き合わせする機会が増加。
- 多様な業界の企業の輸送ルートやDB化し、AIにより**マッチング**するサービスを開発することで、パレットにとどまらない**価値を提供**することを目指している。

物流における諸課題

帰りの積み荷がないので埋めて輸送したい



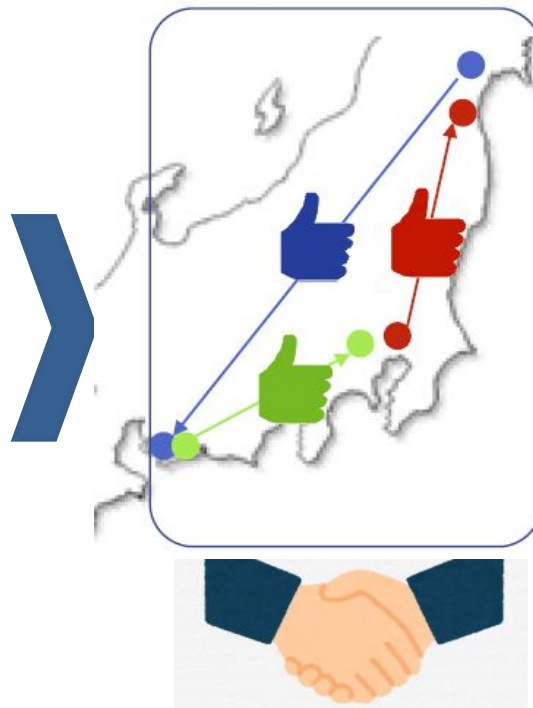
満載で運べていないので共同輸送したい



不定期便なので他社と共同して定期化したい



本サービス活用によるマッチング



物流効率化、環境負荷の軽減

製造業



輸送の効率化

実車率や積載率を上げ、輸送コストの適正化を図る

物流企業



受注の効率化

空車区間の積み荷を探し採算の向上を図る

SDGs

物流効率化によりCO2排出量の削減に寄与